



よこはま 民児協だより

令和5年3月発行
横浜市民生委員児童委員協議会
横浜市中区桜木町 1-1
☎ 045-201-8618
<http://www.yokohamashakyo.jp/minsei/index.html>

No. 47

新会長 あいさつ

令和4年12月の一斉改選で市民児協の会長に就任いたしました。4311人の仲間と共にこれから3年間活動していきたいと思っております。今私たち民生委員児童委員が置かれている環境は前期の一斉改選以後大きく変わりました。永年にわたり携わってこられた委員の方をはじめ、期の浅い委員の方も社会活動の変化に戸惑いながら活動を続けてこられたことでしょう。しかしながら、民生委員児童委員活動の信条は変わりないと思っています。私たちは同じ地域の隣人として、或いは顔と顔がつながる強みを生かして地域の課題に取り組み地域福祉に関わっていきます。新任の委員の方は地域との日頃の関係作りを進めていく事で課題の発見や解決への協力を得ることができ、活動の負担軽減にも繋がると思います。委員一人ひとりの生活環境は異なりますが、無理の無い範囲での活動を模索しながら地域の「つなぎ役」としてやりがいを感じる活動を共に進めていきたいと思っております。



横浜市民生委員児童委員協議会 会長 石井 マサ子

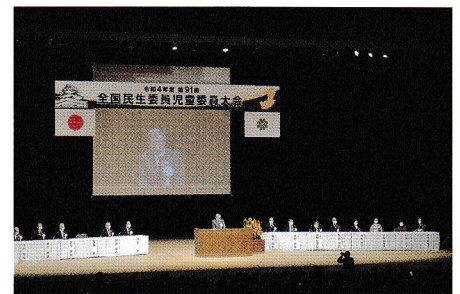
第91回 全国民生委員児童委員大会

参加報告

2018年に開催された沖縄大会以降、台風や新型コロナウイルス感染症の影響で中止や規模縮小を余儀なくされていましたが、感染対策のもと全国から約2,600人の民生委員・児童委員、民児協関係者が一堂に会し、第91回全国民生委員児童委員大会が令和4年10月19日(水)、20日(木)に愛知県名古屋市で開催されました。

大会1日目のカレーハウスCoCo壱番屋創業者である宗次徳二氏による特別講義「みんなの幸せのために～人に寄り添い助け合う社会～」では、宗次氏が行われている寄付等の社会貢献活動や熱い想いをうかがいました。

大会2日目のシンポジウム「こども家庭庁とこれからの児童委員活動」では、松原康雄氏(明治学院大学名誉教授)のコーディネートのもと、3名のシンポジストが行政・社協・民児協それぞれの立場から発表を行いました。松下明氏(全国民生委員児童委員連合会副会長)の発表では『こども家庭庁設置や制度改正により活動環境が変わることはあるが、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の目的や子どもたちや子育て家庭向けの思いやりのまなざしは不変である』ということを確認することができ、今後の活動について改めて考える機会となりました。



大会1日目 式典の様子

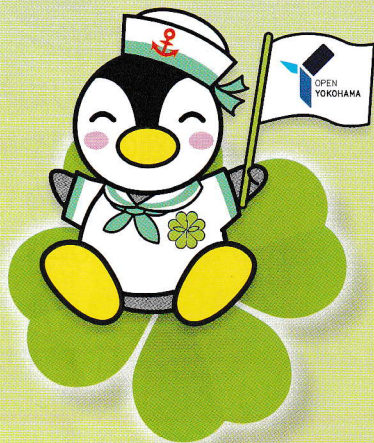


市民児協理事18名・事務局2名で参加しました

令和4年12月 一斉改選が行われました

今回の一斉改選では1,093名の委員を新たにお迎えし、新体制での民生委員・児童委員活動がスタートしました。

「新任研修や引継ぎを受けても、何から始めればいいのかわからない」という新任委員の方や、「先輩という立場になったが、新任委員を引っ張っていけるか不安」と感じられている委員の方も多いのではないのでしょうか。新体制がスタートした今、改めて民生委員活動の基本を振り返りましょう。



民生委員・児童委員は
地域住民と関係機関・専門職との

つなぎ役

です

地域

- ◆自治会町内会 ◆地区社協
- ◆学校 ◆保育所・幼稚園
- ◆老人クラブ(シニアクラブ)
- ◆ボランティアグループ 等

関係機関

- ◆地域ケアプラザ、地域包括支援センター
- ◆区社会福祉協議会
- ◆行政(高齢・障害支援課、こども家庭支援課等) 等

日頃の活動

- ◆定例会 ◆委員同士の情報交換
- ◆見守り・相談 ◆研修受講
- ◆サロン活動

自身と家族の健康を
第一に、無理のない範囲で
楽しく活動することが大切!



最初の1歩を踏み出すことは
難しいが、地域活動に顔を出し、
民生委員の視点で地域に
目を配っていきましょう。

広報紙作成委員会からのメッセージ

一人で抱え込まず、
仲間同士で相談し合い、
支え合って活動して
いきましょう。

わからないことは
先輩委員に
相談しましょう。



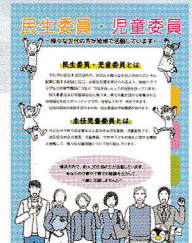
横浜市の一斉改選について

横浜市健康福祉局地域支援課

昨年は、3年に一度の一斉改選が行われ、地域の皆様から推薦された民生委員・児童委員及び主任児童委員、合計4,311人の方が、12月1日に厚生労働大臣及び横浜市長から委嘱を受けました。

民生委員・児童委員、主任児童委員の皆様には、地域住民の皆様の見守り、生活上の困りごとや心配事の相談に応じ、地域ケアプラザをはじめとした関係機関等につなぐことで、問題の深刻化を未然に防いでいただいています。

横浜市としましても、地域共生社会の実現をともに目指し、民生委員の皆様が活動しやすくなるようなご支援や、地域の中で、民生委員活動への理解を深めるとともに、興味を持ってくださる方が増えるようなPR活動などに一層努めてまいります。



今回、リーフレットを作成しました

地区民児協 活動報告

瀬谷
磯子 鶴見

毎号3区ずつ、
特徴的な取り組みを
している地区を取
り上げていきます。

瀬谷区 本郷地区

「健康長寿の里・本郷」へ向けて

横浜市の北西部にある瀬谷区、私たちの地区の西側は川を挟んで大和市です。

地区のスローガンは「健康長寿の里・本郷」

子どもから高齢者まで健康で明るく暮らせる地域づくりを目指しています。

私たち民児協は11名でそのお手伝いをしています。

高齢者の見守り活動・食事会(この3年間はコロナ禍の為、健康づくりに脳トレなどのサロン活動に変更)、子育て中のお母さんと子どもの集いを隔月で開催しています。

今回の一斉改選でベテラン2名が退任し、少々心細いところですが新任委員と共に地域や行政機関とのつながりを密にし、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して活動していきたいと思っています。

会長 吉川 裕子



主任児童委員連絡会活動紹介

10月23日(日)第14回子ども虐待防止「オレンジリボンたすきリレー」が3年ぶりに開催されました。今回はじめてゴール会場になった象の鼻パークに、日頃から子どもたちを見守る団体が集結し啓発活動を行いました。主任児童委員連絡会は風船ロケット・パラシュート・コマ・ハロウィンポンポンなどの手作りのおもちゃを現地で作成、配布。好天に恵まれ、たくさんの親子が立ち寄ってくださり、たくさんの笑顔を見る事ができました。久しぶりのイベントで私たち自身もとても楽しく活動させていただきました。主任児童委員活動の周知がもう少しできたらよかったという反省は、次回にかしたいと思います。



磯子区 汐見台地区

コロナ禍だからこそ しっかりと民生委員活動を

コロナ禍の中で、ひとり暮らし高齢者等の支援が必要な方々が、地域で孤立化を深めていて、最近、認知症の方が増えているとの声も多く寄せられています。汐見台地区ではコロナ禍だからこそ、日頃の民生委員活動をしっかりと行おうと申合せ、手紙や電話を活用するなど、様々な工夫をして訪問活動等に積極的に取り組んでいます。年末には、介護負担の大きい寝たきり高齢者にお見舞い品をお持ちし慰問活動も行っています。



また各棟に一人配置され見守り活動を行っている見守り員の方と民生委員の連携を深め、地域の様々な課題を話合う情報交換会を年2回開催し、地域全体での支えあい活動にも積極的に取り組んでいます。

会長 屋代 昭治



鶴見区 豊岡地区

ふらっと入れるカフェを 再開しました

2018年誕生の「豊岡ふらっとカフェ」は、認知症の人やその家族、友人が気軽に立ち寄り交流できる場です。豊岡地区民児協と鶴見中央地域ケアプラザで運営。毎月第3土曜日の開催は、コロナ禍による休止期間を経て昨年12月に感染防止対策や人数制限をして、再開。現在は不規則の開催となっています。

短時間でも楽しんで頂けるよう、ハンドベルやオカリナの演奏を聞いたり、簡単な手話ダンスもしています。薬局の方からの薬やワクチンのお話、ケアプラザによる介護相談の受付もしています。「楽しかった!!」の声を励みに、一同、長く続けられるよう頑張っています。

会長 金谷 みどり



市民児協新理事紹介

(任期：令和4年12月～令和7年11月)

研修委員会：○
広報紙作成委員会：◎

青葉区

ふだんのくらしのしあわせをより多くの方が実感できる街にしていきたいと思いをもちます。



小嶋 優 ◎

都筑区

「笑顔！笑顔！笑顔！あなたの笑顔が支援に繋がる！笑顔で育む地域の和」との思いで、共に活動していきたい。



小林 達夫 ○

港北区

笑顔で顔の見える関係作りができれば幸いです。支援合い助け合う、そんな地域のつなぎ役になれる活動がしたいです。



山科 礼子 ○

鶴見区

地域の身近な相談相手として安心して暮らせる「地域共生社会」を目指して活動していきます。



小林 政晴 ◎

緑区

緑区民児協は、家庭も各自の仕事も大切にして、明るく、元気に笑顔で住みよい緑区を目指して活動していきます。



松浦 正義 ◎

旭区


一人ひとりの民生委員が地域の身近な相談役になれるよう、民児協で支えあえる運営、活動をしていきたいと思いをもちます。



鈴木 敦子 ◎

神奈川区

誰もが健やかに、安心して暮らせる町をみんなでつくるために、見守り役、相談役として思いやりのある地域活動に努めます。



今井 典代 ◎

瀬谷区


地域はまさにおたがいさまで支えあうものと感じています。みんなで地域の皆様とともに明るいまちづくりをめざします。



紅林 千津子 ◎

西区

ウイスクロナを合言葉に、地域に寄り添いみんなでこやかに幸せに暮らせる町を創っていきましょう！



武田 容子 ○ (副会長)

保土ヶ谷区

変化の著しい社会背景の中、身近な相談相手としての住民に寄り添い、きめ細かな支援活動に取り組んでまいります。



中村 好美 ◎

中区

笑顔とリスベクトする心を忘れずに、地域の方の声を聞き、支えあい、住みやすい地域づくりを目指します。



梁田 理恵子 ◎ (副会長)

南区

「南の風はあったかい」のキャッチフレーズのとおり、温かく優しい気持ちで寄り添いながら笑顔で地域の「見守り役」として活動してまいります。



佐藤 明美 ○

泉区


誰もが安心して住み続けられる地域を目指して同じ地域に生活する隣人として寄り添い、仲間と共に活動していきたいと思いをもちます。



石井 マサ子 ○ (会長)

磯子区


委員みんなでしっかりと話しあい、力を出し合って誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。



屋代 昭治 ○

港南区

「社会奉仕の精神」に頼ってはいけません。コロナ禍を乗り越えて「やりがい」「喜び」、そして時には「楽しい」と感じられる活動を進めていきたいと思いをもちます。



黒川 暁博 ◎

市主任児童委員連絡会代表

主任児童委員を、多くの方を知っていただくとともに、各委員が活動しやすい環境づくりに努めていきたいと思いをもちます。



木村 博子 ○

栄区


地域の困りごとに向き合い、誰もが気軽に声をかけていただける地域の相談役としての民生委員活動が出来ればと思いをもちます。



本田 桂子 ○

金沢区


「誰もが安心して健康やかに住み続けられる金沢区」を目指して、区民児協一体となって活動を盛り上げていきたいと思いをもちます。



寺木 好子 ○

戸塚区

「誰もが安心して心豊かに暮らせる戸塚区」を目指し、力を尽くしてまいります。



川邊 正子 ○

編集後記

令和4年12月の一斉改選により広報紙作成委員会は、新メンバーも増えこの度、第47号「よこはま民児協だより」を作成しました。
 3年間コロナウイルス感染症で民児協の活動も制限されてきましたが今年度は、コロナ発症前に少しずつ戻って行くものと思います。
 これからも皆様の活動にお役に立てる内容の広報紙を作成してまいりますのでご意見、ご要望がありましたらお知らせください。

広報紙作成委員会 委員長 松浦 正義

- 【委員長】 松浦 正義
- 【顧問】 梁田 理恵子
- 【委員】 小林 政晴 今井 典代 黒川 暁博
 中村 好美 鈴木 敦子 小嶋 優
 紅林 千津子 魚谷 晶子